

実践例 栃木県立今市高等学校

日時 6月21日（火）13：30～14：20（5時限目）

教科・科目等 公民科・現代社会研究（3学年・24名）

実施時間 1時間

教材 人権の窓（高校生用）、G7にかかる資料等

活用場面 1時間

- ジェンダーギャップ指数等で日本の現状と課題を確認する
- 「女性専用車両」「ポジティブアクション」などについてグループで話し合う

その「ちがひ」、何のためにあるの？

<事例>
C社は、現在、女性管理職の割合が2割であるが、5年後の割合5割を目指して様々な取組を行っている。

自分の考えに近い方をクリックしよう！

必要 必要ない



- 左のスライドを全体に提示、説明した後、右の写真のように、グループでその必要性について「必要です」「必要ありません」のカードを使い話し合った。

- 高校生としてできること、日光市として政策に反映できることを考える。



←発表の様子

活動の様子が NHK（R5. 6. 21）・下野新聞（R5. 6. 22）に掲載等されました。